

# 出会いと広がり

116 日 文 美術 728

ISBN978-4-536-10106-6  
C4370 ¥00000E



# 美術 1

## 出会いと広がり

日 印刷  
日 発行  
10日 検定済

認可し官報で告示した定価  
教科書取次供給所に表示します。

造形大学教授)  
大学大学院教授)  
大学大学院准教授)  
大学教授)  
大学教授)  
環太平洋大学教授)

東村山市立東村山第二中学校教諭)  
川崎市立立川中学校長)  
水女子大学附属中学校教諭)  
北杜市立明野中学校教頭)

大学教授)  
造形芸術大学教授)  
大学准教授)  
大学大学院教授)  
馬大学准教授)

大学教授)  
立芸術大学准教授)  
大学教授)  
山大学教授)  
教育大学理事・副学長)  
芸芸大学附属竹早中学校教諭)  
株式会社

教育大学名誉教授)  
学院大学教授)  
島大学名誉教授)

大学名誉教授)  
州産業大学教授)  
形大学名誉教授)

大学教授)  
大学名誉教授)  
教育大学名誉教授)  
良教育大学教授)  
県神戸市立岩岡小学校長)

大学名誉教授)  
大学名誉教授)  
造形芸術大学教授)  
大学教授)  
芸術大学非常勤講師)

教育大学教授)  
財団法人名古屋都市文化振興事業団専務理事)



◆校閲者  
特別支援教育・  
カラーユニバーサルデザインに関する校閲  
大内 進 (国立特別支援教育総合研究所客員研究員)

防災・安全教育に関する校閲  
片田敏孝 (群馬大学大学院教授)  
河田恵昭 (関西大学教授)

小・中学校連携に関する校閲  
水島尚喜 (聖心女子大学教授)  
西尾正寛 (畿央大学教授)  
永井和貴 (東京都渋谷区立小中一貫教育校  
渋谷本町学園 小学校教諭)

◆発行者  
日本文教出版株式会社  
大阪市住吉区南住吉 4-7-5  
代表者 佐々木秀樹

◆印刷者  
西口印刷株式会社  
大阪市住之江区北加賀屋 1-3-9  
代表者 西口平輔

◆製版者  
株式会社 あいぼっくす  
大阪市東成区東今里 2-6-18  
代表者 大西健彦

◆表紙・本文デザイン  
株式会社志岐デザイン事務所

### 表紙

ウールワース・ビルディング  
[ミクストメディア / 566×400×500cm]  
1975~76 名古屋市美術館蔵 [愛知県]  
レッド・グルームス [アメリカ・1937~]

レッド・グルームスは、ニューヨークに実際にある超高層ビルに、体が硬貨と紙幣でできたドラゴンが巻き付く不思議な情景を表した。立体で高さ5m以上もの形をつくり、さらに窓の一つ一つに人物を描き込んだ。立体の迫力と、絵の細かさの両方が味わえる。

### 資料提供・協力

アトリエ・ヴィ、アフロ、アマナイメーجز、NHK出版、大阪市交通局、大関雄次郎、川嶋印刷、公文健太郎、グッティイメーجزジャパン、神戸ルミナリエ事務局、工房草来舎、国際オリンピック協会、シュヴァン、スタジオエス、世界自然保護基金ジャパン、チキウグリーディングス、DNPアートコミュニケーションズ Image : TNM Image Archives、新山宏、日本デザインセンター、芳賀ライブラリー、白山陶器、はなささら、ピクスタ、PPS 通信社、ボクネンアートミュージアム、北海道立近代美術館、まちぐる KAGAWA、間々田八幡宮、MR.DESIGN、柳原茂光、ゆかい、ユカリアート、ユニフォトプレス、輪島正裕

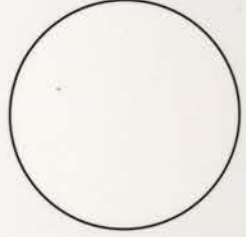
表紙・裏表紙 © 2014 Red Grooms / ARS, New York / JASPAR, Tokyo D0695

P.9 ボタンの仲間  
Galerie und Verlag St. Gertrude - Hamburg, Germany

P.23 シリ  
Andrew Wyeth (1917-2009) Siri, 1970 Tempera on panel  
Collection Brandywine River Museum of Art  
Purchased for the museum by John T. Dorrance, Jr.; Mr. and Mrs. Felix du Pont; Mr. and Mrs. James P. Mills; Mr. and Mrs. Bayard Sharp; two anonymous donors; and The Pew Memorial Trust, 1975  
© Brandywine Conservancy & Museum of Art, 2014

P.35 表紙のデザイン © Ikko Tanaka / Licenced by  
P.40 オール・イヤー・リングス tt-nt.info  
P.55 神戸ルミナリエ © Kobe Luminarie O.C.

組	番	名前



自分のマーク

株式会社 東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井 1-2-16 電話 (03)3389-4611  
bun-g.co.jp/ 大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉 4-7-5 電話 (06)6692-1261

これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。

※本書に基づく解説書・自習書・ワークブックおよびこれらに類するもの無断発行を禁ずる。  
※この教科書は植物油インキと再生紙を使用しています。

日本文教出版





# 美術1 [目次]

## 出会いと広がり



材料と対話して ▶ 16・17



見て感じて、描く ▶ 8・9



身近な人を見つめて ▶ 22・23



楽しく伝える文字のデザイン ▶ 36・37



鑑賞との出会い ▶ 18・19

### オリエンテーション

- 出会うと広がり ..... 2~4
- 図画工作、そして...美術へ ..... 6・7

### 絵や彫刻など

- 見て感じて、描く ..... 8・9
- 身近なものを立体で表そう ..... 10・11
- なぜか気になる情景 ..... 12・13
- 心に残ったできごと ..... 14・15
- 材料と対話して ..... 16・17
- 鑑賞との出会い ..... 18・19
- ▲ 私が見つけた物語 ..... 20・21
- 身近な人を見つめて ..... 22・23
- ▲ 教科書美術館 | 花の生命 ..... 24~29
- 刷って出会う美しさ ..... 30・31

### デザインや工芸など

- ▲ デザインの扉を開こう ..... 32・33
- 美しい構成と装飾 ..... 34・35
- 楽しく伝える文字のデザイン ..... 36・37
- 記憶に残るシンボルマーク ..... 38・39
- 一枚の紙から広がる世界 ..... 40・41
- 私の気持ちをカードに込めて ..... 42・43
- 使いたくなる焼き物をつくろう ..... 44・45
- 暮らしに息づく木の命 ..... 46・47
- ▲ 伝統の中の動物たち ..... 48・49

### 学習に役立つ資料

- 自然界や身の回りにある形や色 ..... 50・51
- 鉛筆で描く ..... 52
- 水彩で描く ..... 52
- 遠近感を表す ..... 53
- 色の広がり、色の魅力  
三原色から生まれる色 ..... 54・55
- 色を学ぶ ..... 56
- モダンテクニック ..... 57
- 木版画 ..... 58
- 木工の技法 ..... 58
- 焼き物をつくる ..... 59

- = 表現する活動を主にした内容
- ▲ = 鑑賞する活動を主にした内容
- = オリエンテーションと学習に役立つ資料

#### マークについて

使用されているマークの意味や内容を知り、学習に生かしましょう。

#### 学びのねらい

題材ごとに「学びのねらい」を示しています。美術の授業を通して多くのことを学んでいきましょう。

- 📍 関心・意欲・態度に関するねらい
- !! 発想や構想に関するねらい
- 🔗 創造的な技能に関するねらい
- 🏆 鑑賞に関するねらい

**POINT** 学習内容のポイントを題材ごとに示しています。

- ⚠️ **注意しよう!** 作品をつくる上での安全に関する注意点を示しています。
- 📖 **参照** 学習と関連する内容が掲載されているページを示しています。
- 🌱 道徳の学習と関連する内容を示しています。

⚠️ **注意しよう!** 美術作品や写真などの創作物には、不正な複製などを禁じ、作者の権利を守る著作権が定められています。作品の図版などを利用する際は注意が必要です。



P.2~3掲載：  
種まく人  
[油彩・キャンバス/  
64.2×80.3cm]1888  
クレラー=ミュラー美術館蔵  
[オランダ]  
フィンセント・ファン・ゴッホ  
[オランダ・1853~90]

## 心の中の世界を描こう

感じたことや考えたことを意識し、  
テーマを持って表現方法を工夫し美しく表しましょう。



生徒作品  
僕の学校の中庭に地球の  
鼓動を集めたら  
[アクリル・キャンバス/  
31.8×41cm]



生徒作品  
水玉鹿  
[彩色・新聞紙/  
25×12×23cm]



生徒作品  
No.1 書道Girl  
[彩色・加工粘土・紙・和紙・木  
/20×15×21cm]

## 思いのままに表そう

線を描いたり色を塗ったりしていく中から、  
現れた形や色を生かし、新たな表現を広げましょう。



# 図画工作, そして…美術へ

## 図画工作での 学びを生かそう

小学校の図画工作の時間  
に学んだことの多くは、  
中学校の美術につなが  
ていきます。



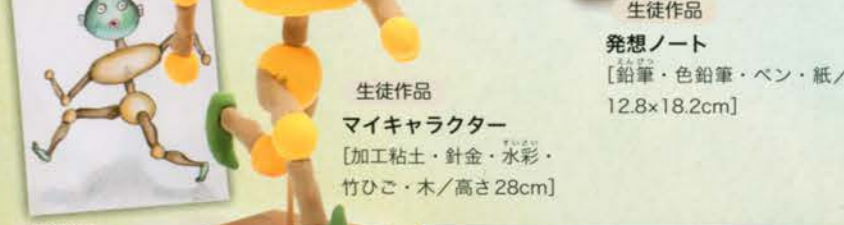
楽しく絵を描いたり、花や木の葉を見てきれいだなと感じたりした子どものころ。思い描いたことを絵に表したり、さまざまな材料でついたりした、小学校の図画工作の時間。  
あなたはいつも、新しい美しさ、美しさを感じる新たな自分に出会い、自分のものの見方や感じ方を育ててきました。  
図画工作から美術へ。  
中学生になったあなただからこそ感じられる美しさに出会い、あなたの世界を豊かに広げましょう。



生徒作品  
おくことぼときもち  
[ラミネート・クリアファイル・ビニール・ひも  
/長さ最大250cm] 共同制作  
美術の作品や活動は、その場や空間などの  
環境をよりよくなりすてきなものと変え  
る力を持っています。目的や意図を持ち、  
作品をつくり飾ったりして、みんな  
の環境を豊かなものにしましょう。

## 発想のデータベースを持とう

生活の中で「きれいだな」など、気がかったことを記録しておきましょう。  
この蓄積が作品をつくる上でのヒントやひらめきにつながっていきます。



生徒作品  
アイデアスケッチ  
[色鉛筆・ペン・紙  
/25.7×18.4cm]



生徒作品  
ランプシェード  
[身辺材料・和紙/  
高さ30cm]

## つくった作品について話し合おう

でき上がった作品について、  
工夫した点や思いなど意見を交換して、考えを広げましょう。



# 見て感じて、描く

身近なものの美しさをスケッチする

## 学びのねらい

- 📌 身近なものを観察し、特徴をとらえて表すことに関心を持つ。
- 📌 身近なものを観察し、どのような特徴を表したいかを明確にして、表現の構想を練ろう。
- 📌 表現の意図に応じて描画材料を選び、形や色を工夫して表そう。
- 📌 身近なものの特徴を、どのように工夫して表現しているのかを感じ取ろう。

ふと目にした通学路の小さな花。そんな身近なものを、感じ取る心を研ぎ澄まして見つめ、手で触れてみましょう。形や色だけではなく、やわらかさやみずみずしさなど、今までは気づかなかった特徴や美しさを感じることができるでしょう。

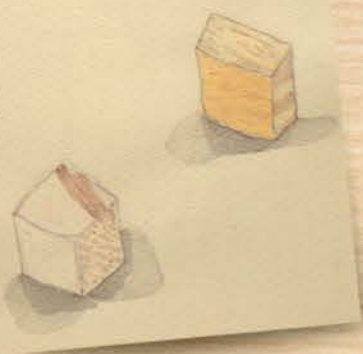
新しい美しさを見つけるつもりで、対象からのおいや手触りも感じ取りましょう。感じたことを大切に、色づかいや表し方、描画材料を工夫し、楽しみながらスケッチをしましょう。

### POINT

それぞれの作品で、対象のどのような特徴が表されているでしょうか。形や色でしょうか。質感でしょうか。あなたがとらえた特徴を表す時の参考にしましょう。

いろいろな角度や距離から見つめてみよう。

生徒作品 身近なもののスケッチ [鉛筆・色鉛筆・アクリル・紙/大: 13.5×19.5cm, 小: 15×15cm]



皿の上のロブスター [色鉛筆/20×33cm] 1945  
オスカー・ココシュカ [オーストリア・1886～1980]  
対象の形を線でおおまかにとらえている。

生徒作品  
カラフルなはさみ  
[鉛筆・水彩・紙/54×37.8cm]



生徒作品 スイカ [鉛筆・水彩・紙/26.5×38.7cm]



ボタンの仲間  
[鉛筆・色鉛筆・パステル/27.8×17.6cm] 1979  
ホルスト・ヤンセン  
[ドイツ・1929～95]

### 生徒作品

ゴーグル [鉛筆・紙/12.8×18.2cm]

**作者の言葉** 水泳の時に世話になっているゴーグルを描きました。質感を出すのが難しかったです。



**参照** 自然物の特徴をとらえた作品の鑑賞についてはP.24～29「花の生命」も見よう。



生徒作品  
セロリ  
[アクリル・紙/26×38cm]  
**作者の言葉** 色がすごくきれいな緑で、形も面白かったです。



# 身近なものを 立体で表そう

目と手で特徴をとらえる

自然物や身近にあるものをよく見つめると、形や色の複雑さや面白さ、美しさに気づきます。また、手に持つと手触りや重さ、かたさなど、見るだけでは気づかない特徴が感じとれます。自然物や身近なものの美しさや存在感を感じながら、さまざまな材料を使って、形や色、質感など、自分が感じた特徴の表し方を追求しましょう。

生徒作品

フルーツパイ  
[彩色・加工粘土・フォーク/  
26×18×18cm]

**作者の言葉** サクサクしたパイや、フォークを刺した時にフルーツとクリームがはみ出した、一目見て食べたいような感じにしたいと思いました。工夫した点は、粉砂糖を表すのに、絵の具を乾燥した筆でたたいてつけたところです。

## POINT

自分が感じた特徴を意識して、全体と細部、両方に注意しながらつくりましょう。

### 学びのねらい

- 身近なものを見つめ、形や色などの特徴や美しさに関心を持とう。
- 対象を見つめて表したい主題を生み出し、全体と部分との関係などを考えて、特徴を表す構想を練ろう。
- 材料を選択したり、用具の使い方を考えたりしながら、形や色、質感などを工夫して表現しよう。
- 作品の形や色の特徴をもとに、よさや工夫を感じ取ろう。



粘土を触ってかたさや重さ確かめて、つくりたいものに合わせた使い方を考えよう。



生徒作品

食べごろ  
[彩色・加工粘土/  
11×7×8cm]

**作者の言葉** 大好きなラ・フランスをおいそうにつくりたくて、緑色から黄色に変わるところに気をつけたり、しみを表すのに筆を弾いたりしました。



生徒作品

フルーツむきました。  
[彩色・加工粘土/5.5×7×9cm]



作品の細部まで味わって鑑賞しよう。「ミカンの実のつぶつぶまでつくってある。」



生徒作品

いきいき野菜 オクラ [彩色・加工粘土/2×16×27cm]

**作者の言葉** 角ばった形や、だんだん濃くなる色を表現しました。



生徒作品

パンプキン  
[彩色・加工粘土/7.5×12×8cm]

**作者の言葉** 種がぎゅっとつままったところが面白いと思ってつくりました。細かいところまでこだわりました。

**参照** P.50～51「自然界や身の回りにある形や色」も見てみよう。

生徒作品

ホタテの網焼き  
[彩色・加工粘土・金網/左:11×10×11.5cm, 右:2.5×11×11cm]

**作者の言葉** 貝殻の内側はニスを塗って、色をつけた接着剤でしようゆの感じを出すなど工夫しました。



生徒作品

トウモロコシ  
[新聞紙・紙/8×14×38cm]  
新聞紙の質感を生かして、トウモロコシの乾いた感じを表している。



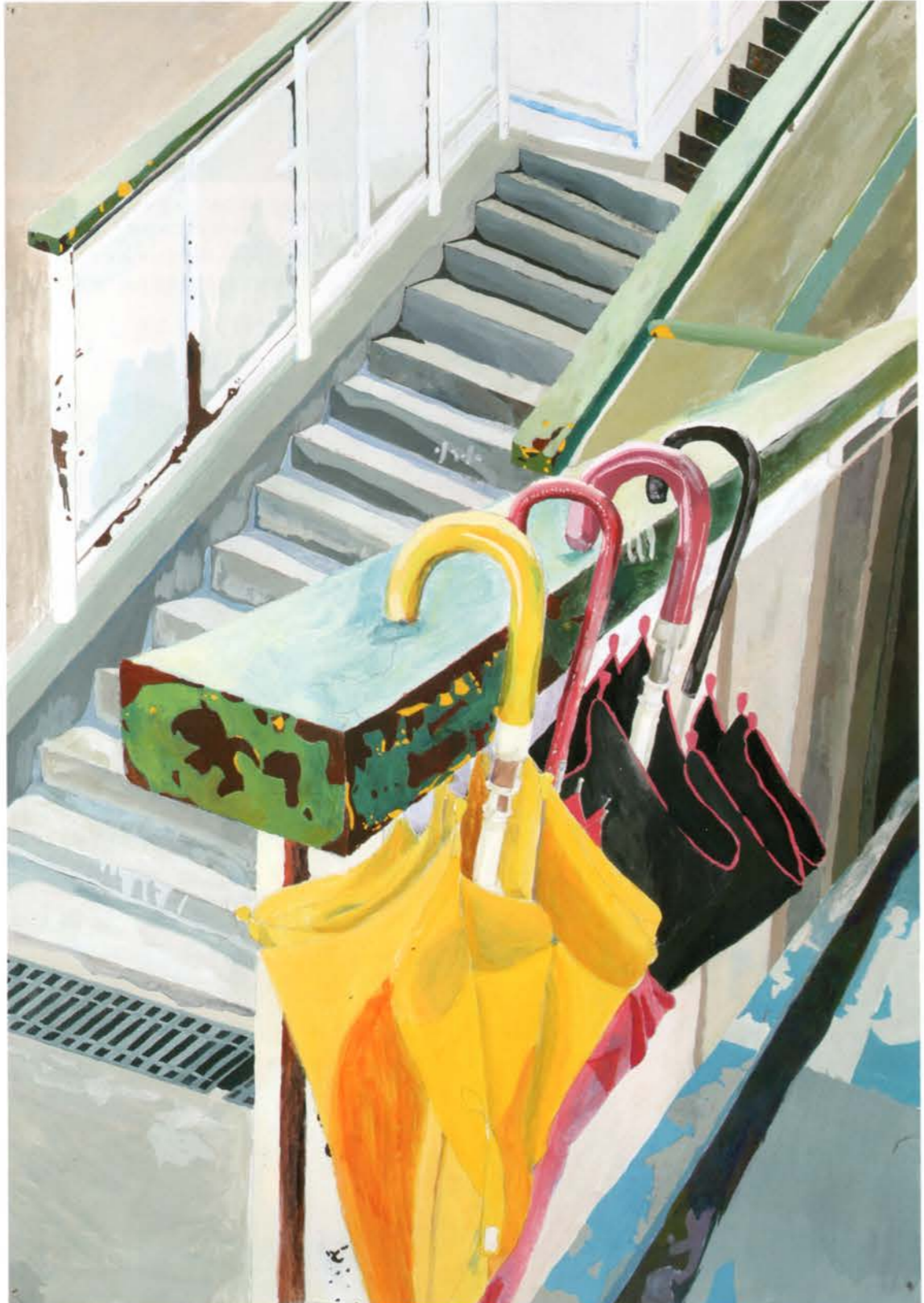
栄螺 [彩色・木・真珠/8×12×12cm] 1930 メナード美術館蔵 [愛知県]  
高村光太郎 [東京都・1883～1956]  
貝のこざった量感をとらえている。また、こつこつした表面を彫り跡で表現している。



# なぜか気になる情景

見慣れている場所が語りかけるもの

- 学びのねらい
- ☑ 生活の中で気になる場所やものなどを見つけ、その特徴をとらえて表すことに興味を持とう。
  - 📌 気になる場所から、表したい主題を明確にして表現の構想を練ろう。
  - 📐 表したい場所の範囲や画面の構成、奥行き感や色彩などを、工夫して表そう。
  - 🎨 気になった場所を、どのように工夫して表現しているかを感じ取ろう。



生徒作品 渡り廊下 [アクリル・紙 / 53.8×38cm]  
 作者の言葉 よく使う階段の手すりはぼろぼろで、校舎の寂しい感じを描きました。

生活の中で、なぜか気になる形や色、目にとまってしまう情景などはないでしょうか。校舎の階段の手すり、用具置き場、フェンスなど、ふと目とまり、自分に何かを語りかけているように感じられるものが、だれにでもきっとあると思います。

毎日の生活の中で、気になっている場所やものが、自分に語りかけてくるメッセージを受け止め、表現方法を工夫して表しましょう。

### POINT

作者は何に心をひかれたのでしょうか。作者の意図や工夫を参考に自分の気になる情景を表現しましょう。

参照 距離感や空間を表すには P.53 「遠近感を表す」も見てみよう。



生徒作品 ボールの休みの時間 [アクリル・紙 / 27×38.8cm]  
 作者の言葉 4種類のボールが並んでいるのが、面白いと思いました。使われていない時間、ボールは休憩しているようにも見えますが、少し寂しそうな感じにも見えます。



生徒作品 老いたフェンス [アクリル・紙 / 径25.8cm]  
 作者の言葉 切れたフェンスから時間の流れを感じました。

### 気になるところを見つけたら

気になるところを、校内や通学路などで見つけた時はカメラで記録したり、スケッチしたりしておくといよいでしょう。



コンクリートのすき間に生えた雑草のスケッチ。



Washbowl [油彩・パネルに綿布 / 164×226cm] 2001  
 府中市美術館蔵 [東京都] 曾谷朝絵 [神奈川県・1974~]  
 光を受けた葉や洗面台の色が明るさを感じさせる。この場所を彩る光や色に関心をよせた作者の思いが伝わってくる。



門 [紙本着色 / 100×140cm] 1967 山種美術館蔵 [東京都]  
 奥村土牛 [東京都・1889~1990]  
 何気なく通り抜ける城の門。四角く切り取られた門の外の空間にさらに四角い小さな鉄砲窓(鉄砲狭間)があり、そこから向こうをのぞきたくくなるような情景である。



ブロックの間から生えた草や校内の照明を撮った写真。

# 心に残った できごと

思い出の景色や場面を表す

## 学びのねらい

- 📍 心に残ったできごとを、効果的に表すことに興味を持つ。
- 📍 思い浮かべた景色や場面から、表したい主題を明確にして、表現の構想を練ろう。
- 📍 表現の意図に応じて表現方法を選択し、材料や用具の生かし方を工夫して表そう。
- 📍 印象深い場面を表した作品から、表現の工夫を感じ取ろう。



普段は何気なく過ごしている生活の中にも、楽しかった思い出や、目に焼きついている景色があるのではないのでしょうか。それは、いつ、どこでのできごとで、どのようなことが心に残っているのでしょうか。

その時の雰囲気や時間、季節感、周囲の人々の様子など、印象強く感じたことが効果的に表せるように、材料を選び、画面の構成や表し方などを工夫して、表現しましょう。

部活の時…

家族旅行で  
見た景色…

友だちと  
遊んだところ…



心に残っている景色や場面を思い出して、作品のアイデアを練ろう。

## POINT

記憶をもとに、あなたが一番感動したものがより強く表れるように、絵の構図や立体での空間の表し方、色彩の効果を工夫しましょう。

## 生徒作品

### 机でのできごと

[アクリル・ペン・紙/39.3×25.1cm]

印象に残っている生活の一場面を、状況がわかるように視点や構図を工夫して表している。



## 生徒作品

### 東京のほこれる夜景

[アクリル・紙/27×37.8cm]

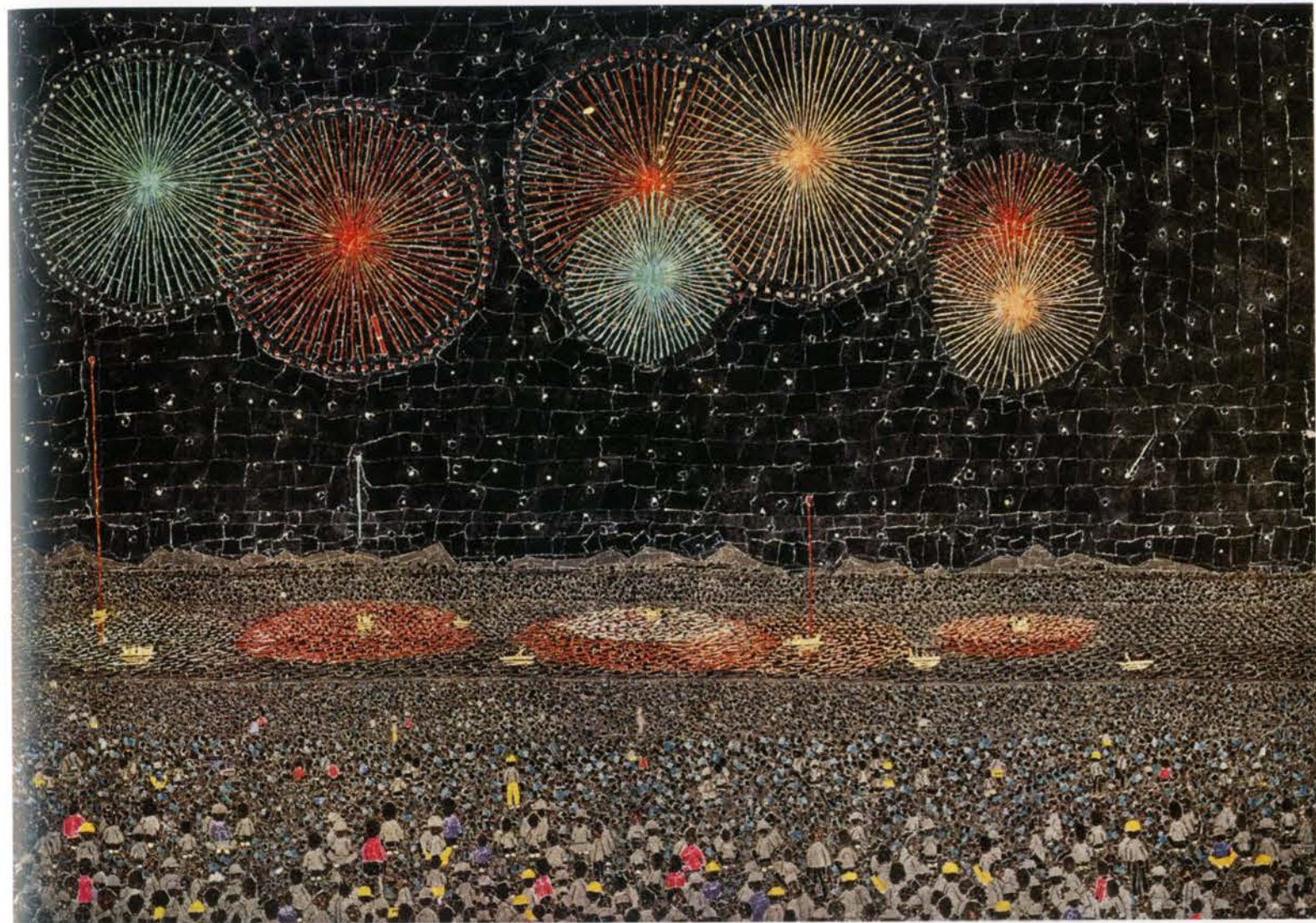
**作者の言葉** 旅行の帰り、見慣れた風景を改めてきれいだなと思い描きました。月をぼかして、橋も輝いているように工夫して描きました。



## 生徒作品 初雪が舞う日

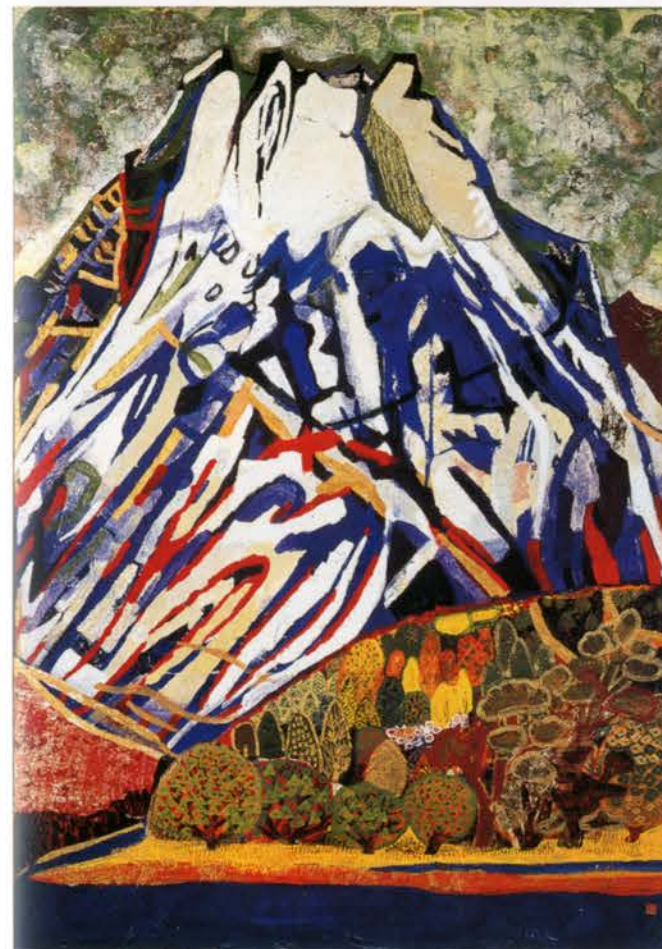
[スパッタリング・アクリル・紙/39×54cm] 夜空と光の明るさを対比させたり、細かい雪をスパッタリングの技法で表したりなど、表現方法を工夫している。

**参照** スパッタリングについては P.57「モダンテクニック」も見てみよう。



## 長岡の花火

[貼り絵/53×75cm]1950 山下清 [東京都・1922～71] 山下清は日本各地を旅して、行った先の風景を貼り絵に残した。この作品では、戦没者を慰霊し、平和を願って行われる、新潟県長岡市の花火大会を見た感動を表している。紙を細かくちぎって貼り、水面に映る光まで表している。



## 山(富士山)

[麻布彩色/259×161cm]1967

北海道立近代美術館蔵

片岡球子 [北海道・1905～2008]

**作者の言葉** 山が雪をかぶっているのに赤い絵の具を使ったのは、スキー遊びの時なんか、雪が反射して虹のように美しくきらめいた子どものころの思い出を織り込みたかったからなんです。



## 生徒作品

### 一番楽しかったコンテスト

[加工粘土・水彩・ペン・針金・木/27×20×16cm]

**作者の言葉** 演奏を楽しむ感じが出るように人物に動きをつけました。台座と背景を黄色のグラデーションにして、気持ちが高まっている感じを表しました。

# 材料と対話して

## 組み合わせの面白さ

身近にある木や石、日用品などを眺めていると、いろいろなものに見えてきた経験はありませんか。まるで材料があなたに語りかけているように感じませんか。

角度を変えたり、材料を組み合わせたりしながら発想を

材料からイメージしたものを表すために、異なる材料を組み合わせたり、粘土で体の部分をつけ加えたりする。



いろいろな角度から見てみたり、触って重さや感触を味わったりしてみよう。



生徒作品

カブトムシ

[石・木・葉・枝 / 7.5×8.5×11.5cm]



生徒作品

今にも動き出しそうなゴマダラカミキリ

[金属 / 12×41×42.5cm]

学びのねらい

- 👉 材料の形や質感から発想を広げ、楽しい作品をつくることに関心を持つとう。
- 👉 材料を見る角度や組み合わせ方を工夫して、楽しい作品になるように構想を練ろう。
- 👉 部分の接合方法や加工粘土での形づくり、彩色を工夫して表現しよう。
- 👉 作品のよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫を感じ取ろう。

広げ、動物などつくりたいものをイメージしましょう。さらに部分をつけ足すことや、組み合わせ方の工夫をこらすことも必要です。あなたが見つけた材料の形や質感を生かして、あなただけの楽しい作品をつくりましょう。



生徒作品

流木から生まれた動物たち

[木・加工粘土・アクリル / 高さ7.2~30cm]



ニワトリ 黄頭 [漂流物・廃材 / 34×49×14cm] 2010  
淀川テクニック (柴田英昭 [岡山県・1976~],  
松永和也 [熊本県・1977~])  
運動靴やうちわなど、いろいろなものを鳥の体の部分に見立て、組み合わせてつくった作品。

POINT

表したいものの特徴が出るような、材料の形や質感の生かし方、部分のつけし方や組み合わせ方を工夫しましょう。







### 出会った作品をもっと知ろう

お気に入りの作品が見つかったら、それについて調べましょう。そして、鑑賞して感じたことや調べてわかったことをまとめましょう。作品や作者をさらに知ることで、見方や感じ方が広がります。



生徒作品 展覧会見学レポート[コラージュ・アクリル・紙/27.0x37.8cm]



生徒作品 展覧会見学レポート[コラージュ・ペン・色鉛筆・紙/27.2x39.3cm]

**作者の言葉** マルク・シャガールの作品『ノクターン』は、全体的に赤という中で、花よめの白というのがとても目立つと同時に悲しみがありました。



### 身近にある美術を鑑賞しよう

生活の中にも鑑賞の楽しみはあります。あなたの心にとまったものを記録して、どんなものによさや美しさを感じたのか、考えましょう。

美術作品の写真の切り抜きや布の模様、風景など身近で見つけた美しさをノートに記録しよう。

### 見方や感じ方を広げよう

作品の感想を話し合ってみましょう。一人一人の作品の見方や感じ方、気に入った作品が違うのも、鑑賞の面白さです。意見を交換し合い、自分は気づかなかった作品のよさに出会いましょう。



作品の写真が印刷されたカードで鑑賞して、お気に入りの作品について意見を交換しよう。



立体の作品は、見る位置によって印象が変わる。それぞれが注目したところを話し合おう。

ウールワース・ビルディング(部分)

## 鑑賞との出会い

作品をよく見ると、いろいろな出会いが生まれます。この作品がすてきだと思った自分の感じ方、作品の中に何かを見つけた時の自分の見方、作者の思い、そして意見を交わした友だちの、自分とは違う見方や感じ方との出会い。さあ、鑑賞を楽しみましょう。

ウールワース・ビルディング(部分)[ミクストメディア/566x400x500cm]1975~76  
名古屋市美術館蔵[愛知県] レッド・グルームス[アメリカ・1937~]  
さまざまな作品が展示される美術館は作品との出会いの場。多くの美術館は、時期によって展示作品が変わる。本物の作品を見て、その迫力を味わおう。

気になった部分に近づいて見てみる。「絵の具がすごく厚く塗ってある。こんな描き方もできるんだ。」



梁山泊  
[油彩・キャンバス/181x305cm]1967  
横浜美術館蔵[神奈川県]  
白髪一雄[兵庫県・1924~2008]



### 言葉にしてみよう

次の例も参考に、作品を見て感じたことを言葉にしましょう。  
**印象から**  
楽しそうな、寂しそうな、かわいい、不思議な、動きのある…  
**何かに例えて**  
〜〜に見える、〜〜のような…  
**描き方や材料の感じから**  
明るい色づかいの、丸い形が多い、ざらざらした、たっぷりの絵の具で描いている…

# 私が見つけた物語

絵の中に入り込んで

学びのねらい

- 美術作品と素直に向き合い、作品から自分なりの物語や意味を感じ取り、作品鑑賞の楽しさを知ろう。
- 場面の状況や人物の雰囲気などから、作者が登場人物に託した思いについて想像し、意見を出し合おう。



バレエの授業 [油彩・キャンヴァス/85x75cm] 1873~76 オルセー美術館蔵 [フランス] エドガー・ドガ [フランス・1834~1917]



近所に新しく来た子どもたち  
[油彩・キャンヴァス/91.5x146cm] 1967  
ノーマン・ロックウェル美術館蔵 [アメリカ]  
ノーマン・ロックウェル [アメリカ・1894~1978]

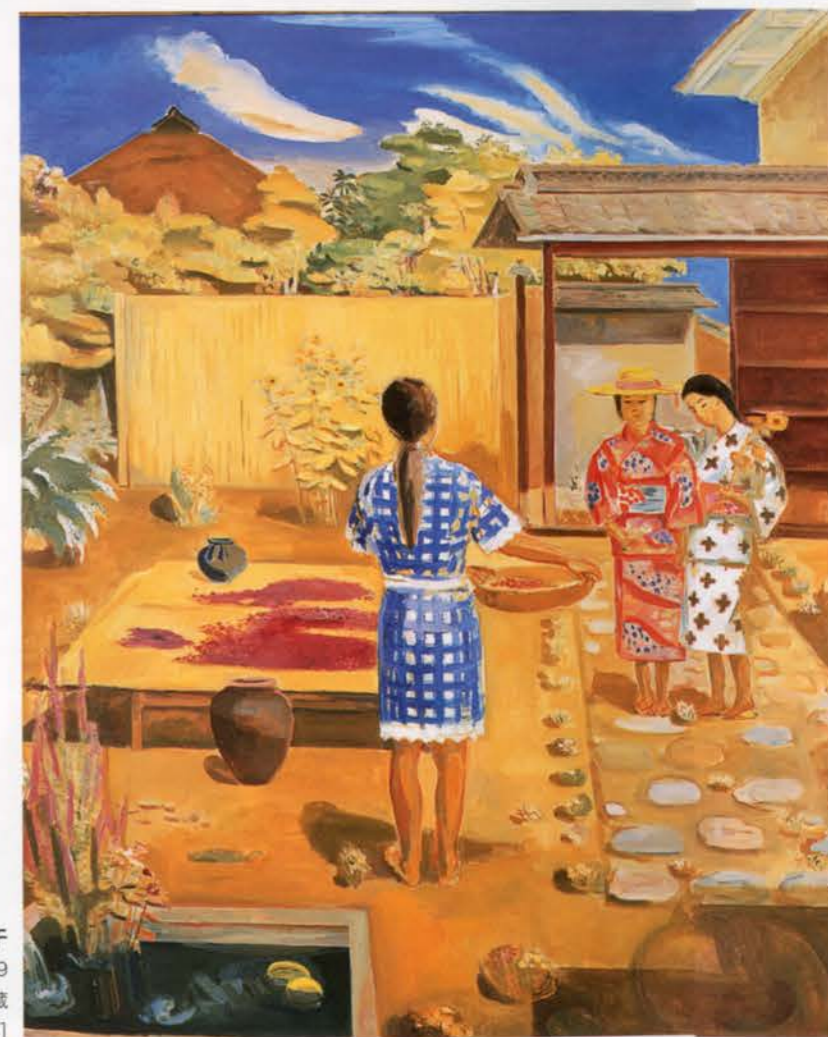
人物が描かれた作品に、物語を感じることはありませんか。じっと画面を見ていると、登場人物がいろいろなことを考え、思いを交わしているのが伝わってくるのではないのでしょうか。

作品の世界に入り込むような気持ちで、人物の表情やポーズ、さまざまな物を見つめ、作者が表したかったことを想像して話し合しましょう。

**参照** 人物の表現についてはP.22~23「身近な人を見つめて」も見てみよう。

## POINT

描かれた場面では何が起きていて、この後どんな場面になるのでしょうか。人物の描き方や位置関係、周囲のものなどに注目して想像しましょう。



梅干  
[油彩・キャンヴァス/160.5x129cm] 1929  
滋賀県立近代美術館蔵  
野口謙蔵 [滋賀県・1901~44]

# 身近な人を見つめて

その人らしさを表そう

## 学びのねらい

- 📍 身近な人を見つめ、特徴をとらえて表すことに関心を持とう。
- 📍 身近な人の表情やしぐさをとらえて、性格や雰囲気を感じられるように構想を練ろう。
- 📍 表したい人の特徴を、ポーズや画面の構成、色彩を工夫して表そう。
- 📍 作品のよさや美しさを味わい、作者の思いや意図を感じ取ろう。



おもちゃで遊ぶ子ども  
—ガブリエルと  
画家の息子ジャン  
[油彩・キャンバス／  
54.3×65.4cm]1894ころ  
ワシントン・ナショナル・  
ギャラリー蔵[アメリカ]  
オーギュスト・ルノワール  
[フランス・1841～1919]  
妻の従姉妹であるガブリエ  
ルと息子を描いている。暖  
かい色や優しいタッチから  
モデルへの愛情が感じられ  
る。

## POINT

それぞれの作品のしぐさやポーズ、服装などのほかに、体のバランスや動きに注目して、表現の参考にしましょう。

あなたは身近な人とどのようなかわりを持ち、どのような気持ちで接しているのでしょうか。

身近な人を表すことは、その人をより深く理解するとともに、その人に対する自分自身の気持ちに向き合うことにもつながります。大好きな人たちを見つめると、その人ならではのしぐさや、性格や雰囲気がよく表れる表情に気づくはず。さらに、あなたのその人への気持ちまで表せるように、形や色、表し方を工夫しましょう。



## 生徒作品

本を読む友だち  
[加工粘土／11×10.5×8.5cm]  
座った時の背中や足の様子をよく観察して立体に表している。



友だちのその人らしさがよく現れる表情や顔の向きなどを、よく探してスケッチしよう。

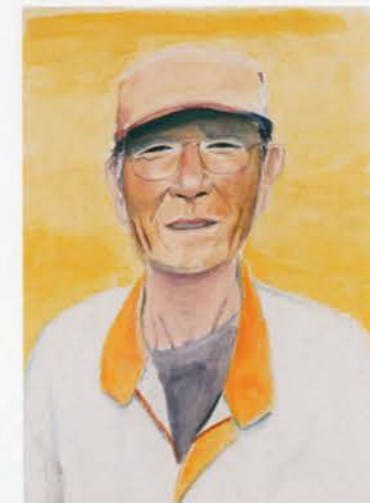


シリ[テンペラ・パネル／76.2×77.5cm]1970 ブランドイワイン・リヴァー美術館蔵[アメリカ]  
アンドリュー・ワイエス [アメリカ・1917～2009]  
知人の娘を描いた作品。少女から感じた若々しさを、ほおの色や輝く目を描いて表している。



ポタン  
[ブロンズ／127×39×35.5cm]1969  
北海道立近代美術館蔵  
佐藤忠良[宮城県・1912～2011]

作者の言葉 私の子どもころ、北海道の子どもたちはマントで冬を過ごしたものであったが、うちの娘がそれを着用しているのを見て、なつかしさと、彫刻にいいフォルムにひかれてこれに取りかかった。



生徒作品 私の大切な人  
[鉛筆・水彩・紙／37.7×26.7cm]  
作者の言葉 マンションを掃除してくれるおじさんを描きました。雨の日も雪の日もレインコートを着て掃除してくれます。とても感謝して、尊敬しています。

生徒作品 絵を描く友だち  
[鉛筆・水彩・紙／54×38cm]

作者の言葉 彼女の優しい性格が伝わるように、やわらかい色をつかい、温かい雰囲気ができるように工夫しました。



生徒作品 優しくてももしろい友だち  
[アクリル・クレヨン・紙／53.6×37.8cm]  
作者の言葉 友だちのきれいなおでこを表したくて、白く塗って光の感じを出しました。

# いのち 花の生命

自然物を観察し、特徴をとらえる

学びのねらい

- 👁️ 観察をもとにした作品を鑑賞し、さまざまな表現方法があることに興味を持つ。
- 🧠 描く対象に向かう作者の姿勢や表現の特徴について考え、対象の見方や感じ方を広げよう。



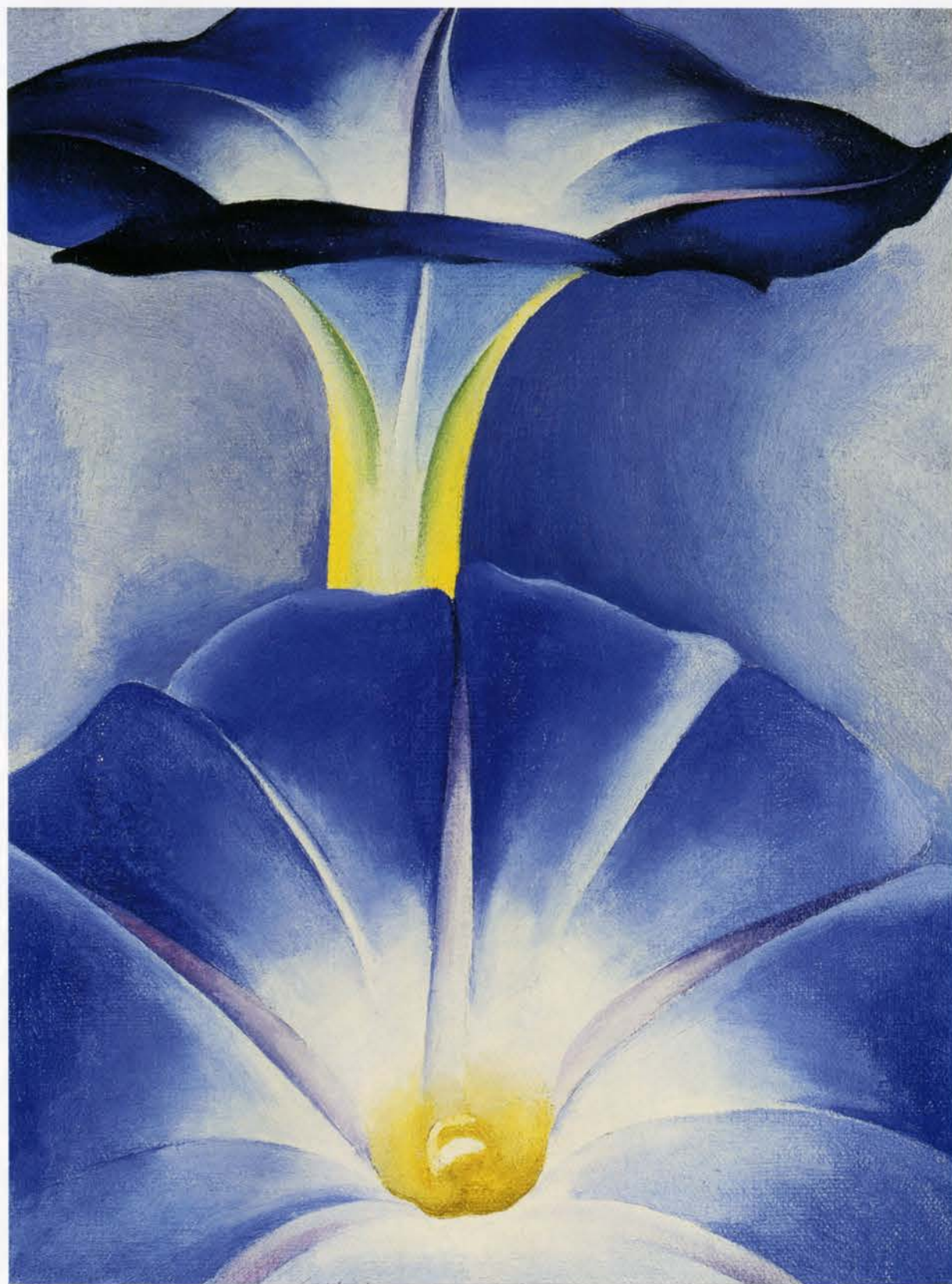
ヒマワリの花のある庭 [油彩・キャンヴァス/110x110cm] 1905~06  
オーストリア美術館蔵  
グスタフ・クリムト [オーストリア・1862~1918]

参照 自然物の表現についてはP.8~9「見て感じて、描く」も見てみよう。

一つ一つの花の形や色の違いをとらえて細かに描いている。また、画面を埋めつくすような構図から、いっせいに咲き誇る花の生命力や自然の豊かさが伝わってくる。

何かを見つめ、絵を描こうとする時、描く対象をよく見て特徴をとらえ、その魅力を感じ取ることから始まります。ここで取り上げる3人の作者はいずれも植物を描いていますが、一つ一つの花の描き方

や画面の構図は違っています。それは、それぞれがとらえた特徴や、感じた魅力が違い、自分なりの方法で表したからと言えるでしょう。描き方や構図に注目して、作者の意図について話し合しましょう。



青い朝顔, ニューメキシコII [油彩・キャンヴァス/31.2x22.9cm] 1935  
ジョージア・オキーフ [アメリカ・1887~1986]

アサガオの花を画面からはみ出すほど大きく描いている。形を単純化し、使う色は少ないながらもその濃淡を生かして、花の存在感を表している。

# 刷って出会う 美しさ

版の特徴を表現に生かそう

学びのねらい

- 版の種類による表現の違いを知り、版で表現することに関心を持つ。
- 版の種類による表現の特徴をもとに表したい内容を考え、構図や色彩など効果的な表現の構想を練ろう。
- 彫刻刀などの用具の特徴や扱い方を理解し、刷りの効果を工夫して表現しよう。
- さまざまな版表現のよさや美しさ、作者の意図と工夫を味わおう。



版画は版の種類によって、多様な表現のよさを味わえます。例えば、木版画は彫り跡を大胆に残したり、多色刷りで深みのある色彩を表したりできます。銅版画は細かな線や点で彫り、ドライポイントは刷るとインクが紙ににじみ、やわらかな感じが出ます。刷る道具や力を入れ方を変えると、仕上がりが変わるのも、版画の面白さです。それぞれの版画の特徴を理解して、表したい思いに合う表現を工夫しましょう。

合掌獅子 [木版・裏手彩色・紙 / 62.6×47.5cm] 2000  
名嘉睦絵 [沖縄県・1953~]  
黒色を刷った後、紙の裏から直接ほかの色を塗っている。大胆な彫りと彩色で活気ある感じを出している。



初夏の舞 [木版・紙 / 45.5×61.5cm] 1990  
新藤清  
[福島県・1907~97]  
木版ならではの、版木の木目を生かしている。

**参照**  
木版画の技法についてはP.58「木版画」も見てみよう。

**POINT**  
インクをつけることを考えて彫ったり、どの色から刷るか考えたり、計画を立てて取り組みましょう。

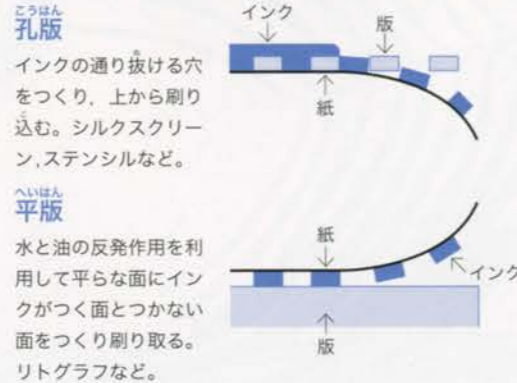
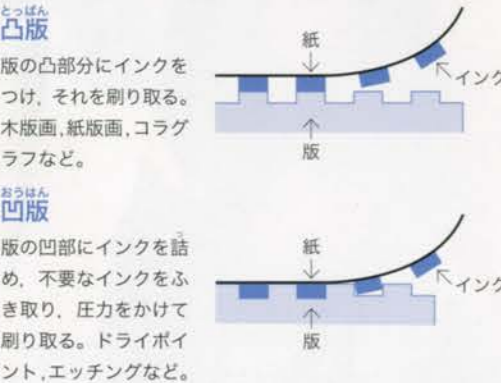


生徒作品 アザラシ [ドライポイント・コラージュ・和紙・紙 / 21×29.7cm]



生徒作品  
スイカ [一版多色版画・ステンシル・紙 / 22×20cm]  
絵の具をつける順番や量の工夫で、スイカの色にグラデーションが出るようにしている。

生徒作品  
心の中の樹  
[ステンシル・コンテ・紙 / 38×54cm]  
**作者の言葉** 人の温かさをイメージして描いた作品です。何回もローラーで色を重ね、思い通りの色や表情が出るまで苦労しました。



生徒作品 HIT! ビッグ・フィッシュ [単色木版・紙 / 48×39cm]  
細い線で彫ったり、わずかに彫り残したりして、水しぶきや魚のうろこの感じを表し、魚を釣り上げた時の勢いが伝わってくる。



刷ったら紙をめくり、刷り具合を確認する。だんだん絵が表れてくる面白さも味わおう。



# デザインの扉を開こう

目的に合わせてつくるために必要なこと

生活の中で道具を使ったり、情報を得たりする時、私たちは使いやすさやわかりやすさ、そして美しさを求めています。使う人の目的や願いに合わせて表現することがデザインの役割の一つです。

## 学びのねらい

- 使う人の目的や願いに応じてデザインされた、身の回りのものに目を向け、デザインの意味について関心を持つ。
- 使いやすいデザインについて、デザイナーの発想や造形的な特徴に注目して鑑賞し、そのよさや魅力を味わおう。

よりよくデザインするために、どのような形や色、材料の工夫ができるでしょうか。身近な道具のデザインを手がけてきた柴田文江さんの発想や手法も参考に、考えましょう。

インタビュー 柴田文江さん

## デザイナーの発想から学ぶ

—柴田さんが考えるデザインとは何ですか？

**柴田** 身の回りの道具や技術は、人が快適に暮らすためにつくられます。ものが人の体や暮らしによりなじむようにして、何の苦もなく使えるようにするのがデザインの役目です。

—そのために必要なことは何ですか？

**柴田** 私がデザインする時に大事にしているのは、まずよく観察することです。実際にものを使う人の姿を見て、不便そうなどころはないか考えます。どのようなものを、だれがどのような場面で使うのかもよく見ます。だれのために、どのような目的のものをデザインするかを考えるためです。さらに、使う立場での自分の経験をミックスして、デザインのアイデアを練っていきます。

—例えばどのようなものをデザインしましたか？

**柴田** 私がデザインした体温計では、今までのものを観察して、細長い軸に数字が表示されるのが読み取りにくいことに

人ともとの  
かかわりを  
考えてつくるのが  
デザインです。



工業デザイナー 柴田文江  
[山梨県・1965～]  
家具や電化製品など身近なものから、駅に設置される自動販売機など公共のものまで、幅広いデザインを手がける。優れたデザインを表彰する「グッドデザイン賞」の選考委員も務める。

## 素材に注目して

それぞれの素材にはかたさや重さなどの特徴があり、適した使い方や使う場面が違います。例えばものを持ち運ぶ袋やかばんは、素材によってどのような違いがあるでしょうか。ほかにも、素材の特徴を生かしてデザインされたものを探しましょう。



ポリエチレンの袋。薄くて軽いですが、重いものを入れると持ち手が伸びてしまう。



布の買い物袋。折り畳めるので持ち運びに便利。

竹を編んでつくった手さげかご。軽く丈夫で型くずれせず、重いものも入れられる。



菓子を入れる紙の箱。折り目をつけるので、畳んで収納し、使う時に簡単に組み立てることができる。

## 柴田文江さんからの提案

### あの人にぴったりの地図をつくろう

—デザインに取り組む第一歩として、どのようなもののデザインがよいと思いますか？

**柴田** 使う人に合わせた目印がある地図のデザインはどうでしょうか。弟や妹、外国の友だちなど使う人を決めて、その人の目をひきそうなものやよく行く場所を目印にするのです。使う人の性格を考えたり、行動を観察したりして目印を決めたら、描き方も工夫しましょう。迷わないでほしい、つまり正しく快適に行動してほしいという気持ちを、形にして伝えるという意味で、地図もデザインです。



生徒作品  
外国人の友だちのための本屋までの地図  
[ペン・紙/29.7×21cm]  
外国にはあまりないので目をひきやすいだろうと考えて、すし屋を目印にしている。



体温計を使うのは病気ですら多いので、「マザーズラブ」をテーマに、安心感を得られるようにしたいと思い、全体に丸みを持たせて、やわらかい印象になるようにしました。

電子体温計  
[ABS樹脂・アクリル樹脂・ステンレスほか/長さ12.5cm]2013

気づき、大きな液晶の表示窓をつけました。また、子どもの小さな脇でも測りやすいように、センサーのある先端を平らな形にしました。小さな丸いセンサーだと回転して動きやすいので、きつく脇にはさまなくてはいけません。私が子どものころ、そうするのが痛かった経験から考えたのです。

—今あるものがもっと快適に使えるようにデザインしたんですね。

**柴田** 人がものとかかわる時に起きる問題を、形や色などの工夫で改善するのがデザインの力です。みなさんも身の回りのものをよく観察して、だれがいつ使うものか、問題点はないだろうかと考えることからデザインの扉を開いてください。

赤ちゃんが食器を倒してしまわないよう、大きな底にして安定させ、ハンドルをつけてしっかり持てるようにしました。ハンドルは色ががついているので、「色がついているところを持って」と教えることができます。赤ちゃんのふくふくした体から発想して、かわいらしさが感じられる形にしました。



幼児用食器  
(奥：ミルクカップ、左：茶わん、右：おかず皿)  
[ポリプロピレン・エラストマー/ミルクカップ:8×12×8cm、茶わん:5.5×12×10cm、おかず皿:4.6×16.6×13cm]2003



片側のへりを内側に傾けることで、すくった食べ物を皿の外にこぼさずに持ち上げることができる。

## 色に注目して

色にはさまざまな特徴や効果があります。そのことをデザインする時に利用すると、見る人に情報をわかりやすく伝えたり、気持ちを変えたりできます。



大阪市営地下鉄の路線案内サイン  
乗り換えできる路線を示す、駅構内に設置されたサイン。共通のマークを使い、路線ごとに色を変えている。

## 形に注目して

使う人や目的に応じて、適した形は違ってきます。同じスプーンといっても、何をすくうかによって、受け口の大きさや深さなどが工夫されています。使いやすい形を考えてデザインされたものを探しましょう。



左からアイスクリーム用、グレープフルーツ用、スープ用、取り分け用のスプーン。それぞれの特徴を、すくうものとの関係から考えよう。

# 美しい構成と装飾

身近なものの特徴をとらえて

## 学びのねらい

- 身近なものの形や色の特徴をとらえ、美しく構成することに関心を持つ。
- 身近なものの形や色の特徴をとらえ、配置や配色の効果を生かした構成を構想しよう。
- 形の表し方、配色などを工夫し、制作の手順を考えて表現しよう。
- 作品の特徴や美しさを味わい、作者の意図を感じ取る。



自然物をあしらった生地 アイノ・マイヤ・メトソラ[フィンランド・1983〜] 植物を単純化し連続模様にしたテーブルクロスは、生活を豊かに彩る。

身の回りにある自然物を見つめてみましょう。やわらかな曲線で形づくられ、全く同じ形や色はありません。人は自然物に美を感じ取り、心をいやされ、その形や色から学んで身の回りのものをデザインしてきました。

身近なものの形や色を見つめ、美しさの特徴をとらえ、構成を考えて表現しましょう。楽しく美しいデザインになるように、自然物の形を単純化したり色を変えたりしながら構成し、使えるものに応用して生活を演出しましょう。



生徒作品 箸袋[カラーコピー・葉・紙/16×4.9cm]

**作者の言葉** 使う人に、桜の葉が色とりどりに変化する日本の自然の美しさを感じ取ってもらえるように、折り返し面の形と色も考えて構成しました。

## 表紙のデザイン

[30.5×24cm]1985  
田中一光  
[奈良県・1930〜2002]



舞妓の顔の特徴をシンプルな形や色でとらえ、書名などの文字を組み合わせて構成し、本の表紙を飾っている。日本の伝統色などに囲まれ、中央に配置した顔を表す白がアクセントになっている。

**参照** 色の対比についてはP.56「色を学ぶ」も見てみよう。

## POINT

身近なものから、どのように特徴をつかみ、形や色、配置を工夫し構成しているか話し合ってみよう。



生徒作品 グラデーションを生かした平面構成 [コラージュ・紙/36×23cm]

画面全体の色彩の調和を考え、線などの生き物と背景や太い線との配色や配置、それらをコラージュする順序の工夫が見られる。



生徒作品 イチゴとオクラとピーマンの平面構成 [アクリル・紙/36.5×51.5cm]

**参照** 自然物の形や色についてはP.50〜51「自然界や身の回りにある形や色」も見てみよう。

## 生徒作品

ネクタイのデザイン [コラージュ・アクリル・紙/39×27cm]

ネクタイの形やネクタイを着けたことを想定した上で、上下の模様や位置を考えて構成している。



生徒作品 私の花[アクリル・紙/37.7×53.5cm]

## 連続模様をつくろう

表したいものの特徴をとらえたスタンプをつくり、並べ方や組み合わせ方を工夫しましょう。



生徒作品 スタンプ、手ぬぐい(部分) [消しゴム/左:4.5×4cm、右:2.5×1.5cm]



生徒作品 チャックの模様のブックカバー [インク・紙/16×22.7cm]



生徒作品 スタンプ [消しゴム/3×3×1.3cm]



生徒作品 アイデアスケッチ[鉛筆・紙/17×19cm]

# 楽しく伝える 文字のデザイン

言葉のイメージを考えてつくろう

私たちの身の回りにはたくさんの文字があふれています。店の看板、商品のパッケージなどを意識して見てみると、そこに使われている文字は、形や色にさまざまな工夫がされていることに気づきます。文字のデザインによって、伝えるものの印象は、大きく変わります。

言葉の意味やイメージから文字のデザインを考え、見た人に効果的に伝わるように工夫して表現しましょう。

風の字麻地型染のれん [型染・木綿/91.3×68.5cm]  
1977 大原美術館蔵 [岡山県]  
芹沢銈介 [静岡県・1895~1984]  
文字の形を生かして、風のイメージをデザインしている。のれんの中から実際に風が通った時、文字が揺らめく面白さがある。



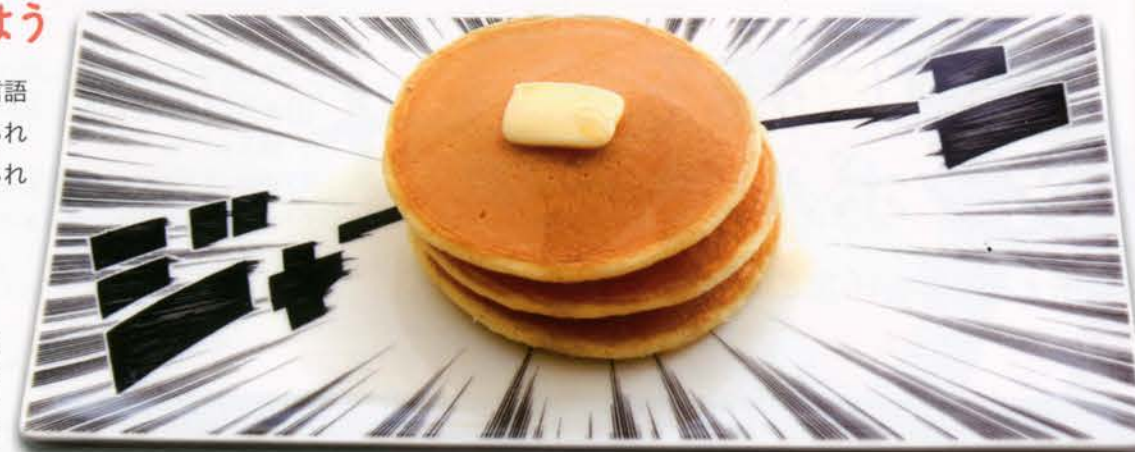
駅名標 海産物の豊富な阿字ヶ浦海岸(茨城県)沿いにある駅。貝、あんこう、釣り針、海藻が描かれている。

学びのねらい

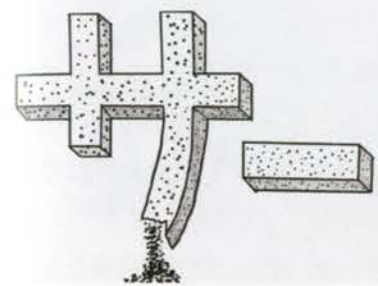
- 生活の中にあるさまざまな文字のデザインに関心を持つ。
- 表現したい意図に合うように、文字の形や色の構想を練ろう。
- 文字の意味から形を考えたり、色をイメージしたりしながら、表し方を工夫しよう。
- デザインされた文字のよさを味わい、作者の意図と工夫を感じ取り話し合おう。

## オノマトペをデザインしよう

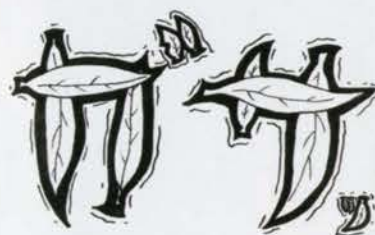
日本語はオノマトペ(擬声語)に富む言語だと言われ、特に漫画には効果的に用いられています。オノマトペのイメージを伝えられるように工夫しましょう。



マンガ皿「ジャン」  
[磁器/1×27×15cm]  
ツタミカ [兵庫県・1988~]  
オノマトペや斜線が描かれた皿。盛りつけや食事を楽しく演出することができる。



生徒作品  
「サー」 [鉛筆・ペン・紙/19×27cm]



生徒作品  
「ガサッ」 [鉛筆・ペン・紙/19×27cm]

POINT

形や色などの効果を考え、ユーモアなどを交えながら文字を生かしたデザインを表現しましょう。

感じたことを意見交換し合い、作者からも制作の意図を聞いてみよう。



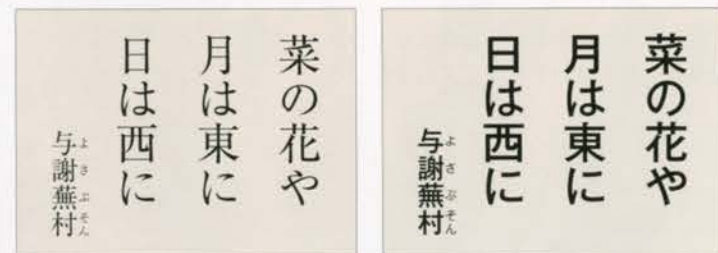
## 書体で変わる印象

文字には、明朝体やゴシック体などさまざまな書体があります。同じ漢字や言葉でも、書体によって印象が変わります。



明朝体

ゴシック体



ローマン体 The sun is in the west.

サンセリフ体 The sun is in the west.

## 絵文字をつくろう

文字は、人と人がコミュニケーションをするために生まれた記号です。伝えたい内容を考え、文字の形とその意味を表す絵をうまく組み合わせて、絵文字をつくりましょう。



生徒作品 文字で遊ぼう(群馬) [アクリル・ペン・紙/27×27cm]  
県の形、自然、名産品などを使って、県名の漢字をデザインした。



生徒作品 帆  
[加工粘土・園芸用パイプ・針金/23×12×17cm]



生徒作品 干す  
[アクリル・ペン・紙/15×15cm]



生徒作品  
舌を巻く  
[鉛筆・ペン・紙/19×26.8cm]



# 記憶に残る シンボルマーク

伝える内容を印象的に表そう

## 学びのねらい

- 生活の中にあるマークに関心を持つ。
- 象徴的に表すために、わかりやすく印象的なマークの形や色の構想を練ろう。
- 意図した内容に対応した形や色を整理し、工夫して表そう。
- マークをデザインした作者の表現意図を感じ取り、工夫された点などを話し合おう。

伝えたい内容を、形や色で表す方法の一つにマークがあります。個人や団体の内容や考え方を整理し、象徴的に表すシンボルマークもその一つです。

オリンピックのマークなどを見てみましょう。伝えたい内容が印象強く、独自性のあるデザインで表されていることがわかるでしょう。

自分や部活動、学校や地域など、表したい対象をわかりやすく美しく伝えるために、ふさわしい形や色を考えて、見た人の印象に残るマークをデザインしましょう。

### オリンピックのマーク

地球の五つの大陸を色別の輪に置き換え、それらがつながっていることを輪の重なりで表現している。



アトランタオリンピックのマーク



世界自然保護基金(WWF)のマーク

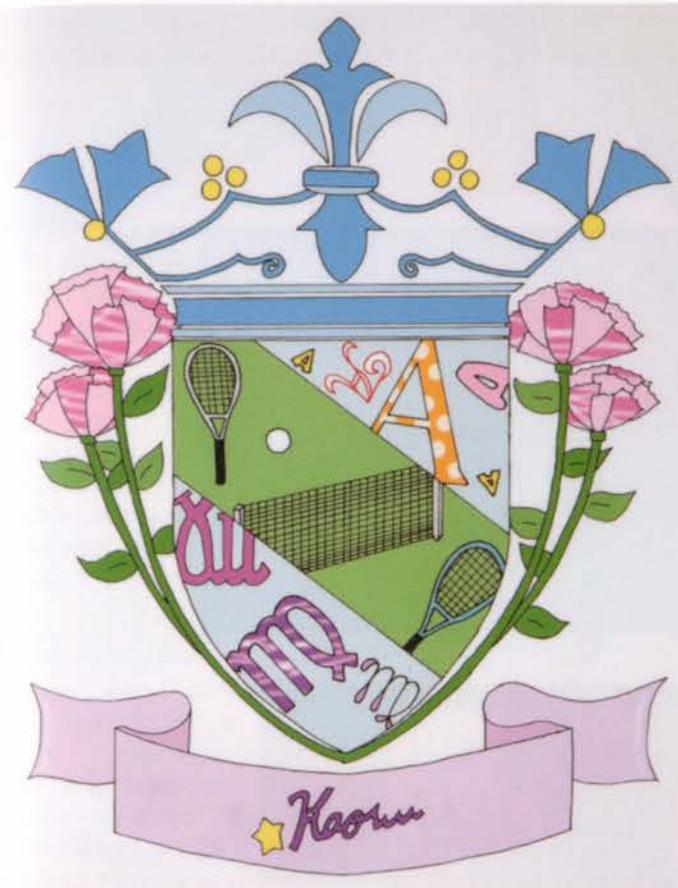


職業訓練を提供する団体のマーク

左はオリンピック100周年を記念し、五輪マークと数字を組み合わせて聖火台を表している。中央は、この団体が地球上の生物多様性を守り、人と自然が調和して生きられる未来を目指していることを、パンダの図柄で象徴的に表している。上は笑顔のマークを団体名の頭文字gの形で表現している。

## 自分や身の回りのマークを考えよう

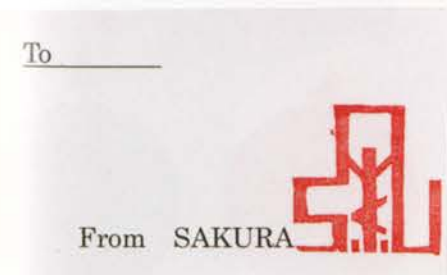
伝えたいイメージが相手の印象に残るように、自分や、学校など身の回りを表すマークをつくりましょう。



生徒作品 私の紋章[ラミネート・プリント・紙/30×21cm]  
興味のあることやものを構成し、自分のイメージを表している。

### POINT

表す対象について考え、伝えたいイメージを膨らませたり絞り込んだりして構想をまとめていきましょう。



生徒作品 [インク・紙/5.5×9cm]



生徒作品 自分のマーク [消しゴム/3×3×1.3cm]



生徒作品 アイデアスケッチ [鉛筆・紙/14×29.7cm]



生徒作品 自分のマーク [カッティングシート・紙/15.3×17.2cm]

作者の言葉 シンプルなマークをつくりたいと考え、平仮名で名字を表しました。



生徒作品 1Aの雰囲気 [アクリル・ペン・紙/16.8×16.7cm]

作者の言葉 1年A組は、個性豊かでいろいろなタイプの人があるので、それを多くの色で表現しました。



生徒作品 部活動のマーク [色鉛筆・ペン・紙/13×17.3cm]

生徒作品 水族館のマーク [アクリル・紙/20.9×29.6cm]



生徒作品 自然の中にあんず [アクリル・紙/径29cm]

作者の言葉 食べごろのあんずに葉をつけず、まだ少し早いあんずに葉をつけました。自然の中にあんずがあると、勝手にほしくて、棚田も描きました。



「千曲市(長野県)のよさ」をテーマに、生徒たちはマンホールのふたのデザイン画を描いた。その中から実際に設置された作品。

# 一枚の紙から 広がる世界

美しい構成や使えるものをつくろう

紙は、私たちの生活の中で慣れ親しまれている素材です。薄くて軽く、扱いやすい上に、比較的簡単な加工で強度を増すことができます。また、さまざまな用途に用いることができ、多くの可能性があります。

紙を折ったり、切り込みを入れたりしてみましょう。そして、カーブをつけてみましょう。平らだった紙がその表情を変えてくるはず。一枚の紙を使ってできる表現を工夫し、美しい構成や使うものを考えましょう。

## 学びのねらい

- 紙を加工することで起きる効果に関心を持つ。
- 紙を折ったり切ったり組み合わせたりしながら、紙の特性を生かしてつくる構想を練ろう。
- 紙の特性や用具の扱い方を工夫してつくる。
- 紙の特性が生み出す造形的なよさや美しさを話し合い、作者の意図や工夫を感じ取る。



### 空気の器

[紙/高さ20×  
径19.3cm]  
鈴野浩一[神奈川県・  
1973~]、亮真哉[島  
根県・1974~]  
(トラフ建築設計事務所)  
空気を包み込むよう  
に、形を自由に変えら  
れる紙の器。広げ方  
によって、用途に合わせ  
使うことができる。



### オール・イヤー・リングス

[紙/最大8.5×7cm]  
TT:NT[タイ]  
一枚の紙を切り抜き、12か  
月の誕生花をモチーフにした  
指輪。花のような鮮やかな色  
はないが、加工の工夫によっ  
て誕生花らしさを表している。



### 紙のコースター

[紙/各径9cm]  
寺田尚樹[大阪府・1967~]  
コースターからキャラクターを折り上げて使う。クリ  
スマスの装飾として、重ねて使っても楽しい。



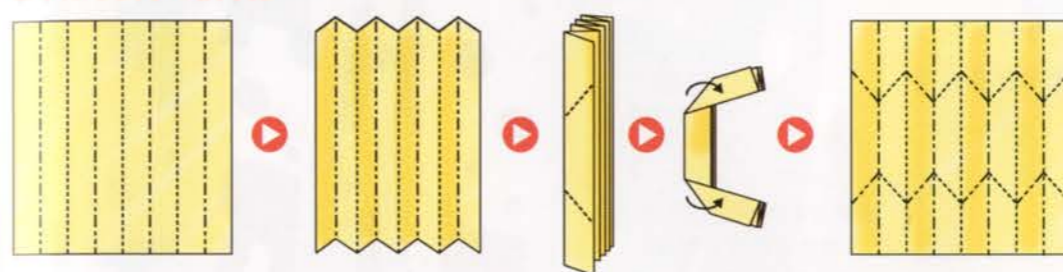
### 生徒作品

海の生き物の置き物[紙・ペン・アクリル/長さ最大12.7cm]  
飾る場所に合わせた作品を考えてつくる。



作品をつくる前に、余り紙などで折り方を  
試しながら、紙の仕組みを学ぼう。

### じゃばら折りの折り方



### 生徒作品

テーブルナプキンホルダー  
[切り絵・紙/5×18×4.1cm]

### 生徒作品

ダイヤモンドのように  
[紙・ストロー・糸/高さ13.2cm]  
窓辺などにつるし、風で回転する作品。

### POINT

折る、曲げる、切る、丸める、貼る、組む  
など加工しやすい紙の特性を生かした形の  
美しさや、色づかい(色の組み合わせ)を  
考え、表現の構想を練りましょう。

### 生徒作品

動物の置き物[紙/高さ最大13cm]  
部屋や玄関の棚に置くことを想定し、動物の大  
きさや立ちやすさを工夫してつくられている。



# 私の気持ちをカードに込めて

開いてうれしい紙のデザイン

友だちや家族からメッセージカードをもらったことはありませんか。工夫されたカードの形や仕組み、描かれたイラストなどから、自分に対する相手の思いが伝わって、楽しく、うれしさがこみ上げてきます。

お祝いや感謝の気持ちを伝えたい人に、カードをつくり手わたしましょう。伝えたい内容、贈る相手の気持ちを考えて形や色を工夫し、楽しく美しいカードにしましょう。



**花入り封筒**  
 [紙・花・プラスチック容器・栄養を足した水/長さ30cm]2010  
 阿部謙之  
 [東京都・1975~]  
 花に気持ちを込めて贈るというコンセプト。パッケージの形状は花束をモチーフにした。パッケージ中央のラインは茎と花びらの色にすることで、中身がイメージできる。

**サンキューカード**  
 [紙/10.6x42.5cm]2003  
 イラスト・ミヤケマイ  
 [神奈川県]

学びのねらい

- 身近な人にメッセージを伝えるデザインに関心を持つ。
- 身近な人に伝えたいメッセージに合わせたカードの仕組みや、イラストレーションを構想しよう。
- 紙や用具の特性を生かし、楽しく伝えるための方法や仕組みを工夫しよう。
- 互いの作品の造形的なよさや美しさを味わい、つくり手の思いや意図を感じ取る。



飛び出すカード(誕生日)[紙/15.8x22.6cm]2011 ロバート・サブダ[アメリカ・1965~]



アリが10匹と「ありがとう」をかけた、ユーモアを感じさせるカード。山折り谷折りを交互に繰り返して、カードを立てることができる。メッセージは裏側に書く。

風船が描かれた台紙に差し込まれた文字の部分が、飛び出す仕組みになっている。

飛び出すカード  
 (誕生日の仕組み)

生徒作品  
**誕生日のカード**  
 [コラージュ・段ボール・紙/12.3x19.7x12.3cm]  
**作者の言葉** 家族に感謝の気持ちを表すために、配色をカラフルにしました。



生徒作品

**母へのサンキューカード**  
 [色鉛筆・ペン・リボン・紙/14.6x19.6x14.6cm]  
 送り迎え、誕生日のお祝い、習い事という母への感謝の気持ちをシャボン玉の中に描いた。その部分の裏に紙ばねを入れ、飛び出すように工夫した。

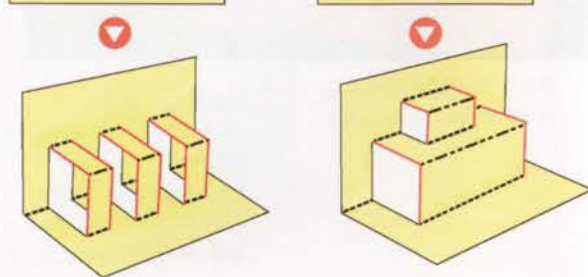
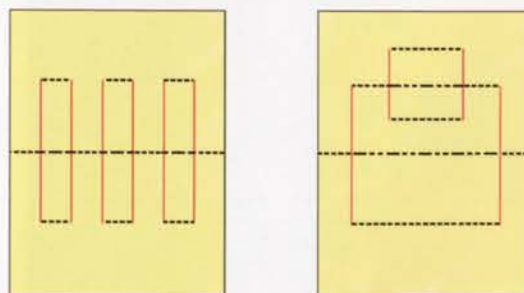


POINT

カードを開いた時、笑顔が生まれる楽しい仕組みを工夫しましょう。

カードが飛び出す仕組み

切るところ 山折り線 谷折り線



友だちに伝えたい思いを込めて、カードを贈ろう。

# 使いたくなる 焼き物をつくろう

美しく使いやすい器

## 学びのねらい

- 🍷 焼き物の実用性と美しさの調和に関心を持とう。
- 🛠️ 用途や機能、使いやすさを考えてつくりたいものを発想し、楽しく使える器になるよう、形や色の効果を考えよう。
- 🏺 陶土や用具の特性を生かし、つくりたいものに合った方法を工夫して、見通しを持って表そう。
- 🎨 作品のよさや美しさ、作者の意図や工夫を感じ取ろう。

皿や茶碗など、私たちが何気なく使っている焼き物を、じっくりと見てみましょう。手になじむ形、心ひかれる色合いや楽しい模様など、使いやすさと美しさが考えられ、工夫されていることが見て取れるでしょう。

日常で使いたい食器などの焼き物をつくりましょう。用途に合わせて大きさや重さ、使いやすい形、美しい模様などを工夫して、長く使いたい作品にしましょう。



### 蛸図大皿

[施釉・陶土/高さ12.5×径51.5cm]1925  
東京国立近代美術館蔵  
バーナード・リーチ[イギリス・1887~1979]  
バーナード・リーチは、日本で陶芸を学んだ。この作品は皿の内部にはタコが、縁には波の模様が大胆に描かれている。



感触を楽しみながら土を練り、空気を抜いて密度を均一にする。



器に形づくられた粘土は、焼成窯で焼かれる。

### 色絵旅行用急須

[磁土/急須・高さ6.3×径9.7cm]1950  
東京国立近代美術館蔵  
富本憲吉[奈良県・1886~1963]  
急須の中に、三つの器を重ねて収納でき、携帯しやすいように工夫されている。



### マグカップ

[磁土/高さ10×径7.5cm]1993  
藤正洋[佐賀県・1927~2005]  
広めにつくられた飲み口、持ちやすく工夫された取っ手や斬新な模様など、使いやすさと美しさを備えたカップである。



### 五弁の皿

[施釉・陶土/4.4×30.8×29.8cm]1950~55ころ  
ノグチ美術館蔵[アメリカ]  
イサム・ノグチ[アメリカ・1904~88]  
花をモチーフにしたシンプルな形の大皿。



### 三彩鳥天使水注

[施釉・陶土/高さ15.7cm]1923ころ  
河井寛次郎記念館蔵[京都府]  
河井寛次郎[島根県・1890~1966]  
黄褐色と緑色の釉葉が施された鮮やかな水注。天使の背中から水を足し、鳥の口が注ぎ口になっている。



### 生徒作品

#### マグカップ

[施釉・陶土/高さ8×口径9cm]

### POINT

自分や家族で使いたい焼き物を、目的に合わせた技法を選んでつくりましょう。

参照 焼き物の技法についてはP.59「焼き物をつくる」も見てみよう。



### 生徒作品

#### アイデアスケッチ

[色鉛筆・紙/15×21cm]



器[板づくり・施釉・陶土/高さ6.5×径19.5cm]  
2種類の土を使い水玉模様を器全体に施した。



### 生徒作品

#### 大皿

[ひもづくり・施釉・陶土/高さ4.5×径23cm]



### 生徒作品

#### 花器

[施釉・陶土/高さ14×径10.2cm]  
表面に植物の茎と葉の模様をあしらひ、楽しさを演出した花器。



### 生徒作品

#### かぼちゃの形の容器

[施釉・陶土/11.5×13.5×12cm]



### 生徒作品

#### 生活で使える器

[施釉・陶土/6×7×7cm]

# 暮らしに息づく木の命

素材のよさを手で味わってつくろう



Thin 木のひらボウル(上) [木(桜) / 3.2×8.9×8.6cm] 三谷龍二 [福井県・1952~] のみや彫刻刀の手彫りの跡や木目の美しさから、木の持つぬくもりが伝わってくる。

## 学びのねらい

- 木の特徴や美しさを生かしてつくることに、関心を持つ。
- 自分やだれかが使う場面を思い描いてつくりたいものを発想し、材料の特徴を生かした表現になるように構想を練ろう。
- 木の特性を理解し、材料や用具の生かし方を工夫して表そう。
- それぞれの作品に込めた思いや工夫を発表し、作品のよさについて話し合おう。

人は、身近な素材である木を使い、生活のいろいろな場面に役立つ道具や、美しい道具などをつくってきました。木には多くの種類があり、かたさや重さ、木目の模様もさまざまです。また、木には年輪があります。年輪は、木が長い年月をかけてゆっくりと成長してきた証です。

手にした一枚の板。その板の色やかたさを手で感じ、木目の美しさなどを生かし、いつまでも大事に、長く使える作品をつくりましょう。新たな木の命が、暮らしに息づいてくるでしょう。



ENKU [漆・木 / 口径12.3cm] 2009  
中村好文 [千葉県・1948~]、赤木明登 [岡山県・1962~]  
豪華さや派手さはないが、日々の暮らしの中で、漆や木の質感が手になじみ使いやすい。

**漆とは?** 漆の木の樹液。漆で塗られた器は耐水性に優れ、割れにくくなり、長く使うことができる。塗料であると同時に接着剤でもあるため、壊れた器などの修理にも使える。

## 木の種類

木はさまざまな種類があり、木工品などには用途に適した性質の木材が用いられています。一般的に、かたい木材は重く丈夫で、やわらかい木材は軽くて加工しやすいという性質があります。

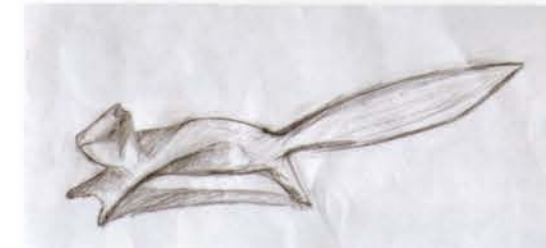


用途に合わせてデザインされた木工品  
(箸、箸置き、スプーン、バターナイフ、ペーパーナイフ、フォーク、しゃもじなど)  
[木(オノレカンバ)]  
込山裕司 [神奈川県・1948~]

生徒作品  
スプーン  
[木 / 長さ15cm]  
ネコのふっくらとした感じを持ち手の部分に表している。



生徒作品 リスのバターナイフ [木(桜) / 長さ17cm]



生徒作品 アイデアスケッチ [鉛筆 / 8×21cm]  
作者の言葉 立体感を出すために、削り過ぎないように心がけました。つくっていくうちに木目の美しさや滑らかさが出てきました。

## POINT

素材のよさを感じ取り、自然の美しさを引き出しながら、使う人の気持ちを考え、つくりましょう。



滑りやすい竹は、作業台などに当てて固定し、刃を前に出すように削る。  
箸置きは表したい形をイメージしてから、万力などで固定して彫り進める。  
表面が均一になるように、持ちやすい大きさの木片に紙やすりを巻きつけて磨く。



参照  
木の加工についてはP.58「木工の技法」も見てみよう。

生徒作品 弓 [木 / 長さ18.5cm]  
作者の言葉 直接テーブルに置いて、よごれないバターナイフの形状を工夫した。また、左利きの人でも使いやすいように、形を対称にした。



生徒作品 箸と箸置き  
[木・竹 / 箸 : 長さ最大22cm, 箸置き : 長さ最大5.7cm]

# 伝統の中の動物たち

## 地域の願いがはぐむ造形

日本各地で受けつがれてきた祭りでは、地域の人々の願いを動物に込めて、仮面や装束、山車などに表したものが多く見られます。中には外国に起源を持つものもあります。また、同じ動物をもとにしても、地域によって使う材料、形や色の特徴が違います。祭りの中の動物の造形から、人々の願いと、動物が象徴するイメージとの結びつきを感じ取りましょう。



えんぶりの舞い(左)とえんぶり烏帽子(右)  
[彩色・紙・和紙/61×43×17.5cm] 八戸市博物館蔵[青森県]  
田植えの動きをもとにした、豊作を祈る踊りである。頭にかぶる烏帽子は農耕を助ける馬をかたどっており、鶴などの縁起のよい絵が描かれている。

参照 動物の特徴の表し方についてはP.16～17「材料と対話して」も見てみよう。

### 学びのねらい

- 地域によって思いを込める対象や造形の特徴が異なることに目を向けよう。
- 日本やアジアの仮面や衣装を比較して、文化の違いや共通点を理解しよう。

### 青笹しし踊り装束

[木・木綿・和紙・山鳥の羽根/高さ220cm]  
速野市立博物館蔵[岩手県]

しし踊りは鹿踊りとも書き、ユーモラスな表情の仮面は、鹿をかたどったとも言われる。鳥の尾羽根や、薄く帯状に削った木を飾りに用いている。

### POINT

もとした動物のどんな特徴を表しているか考えましょう。



### ジャガマイタ 栃木県

豊作などを祈る祭りで、竜を模した「蛇」を担いで練り歩く。竹やシダ、藤など、さまざまな植物を材料にしている。

## 獅子舞の装束の比較

獅子はライオンをもとにして、想像上の動物として日本に伝わりました。今も全国各地で獅子舞が見られ、ほかのアジアの国でも演じられています。それぞれの装束の形や色などに注目して、共通点や独自性を考えてみましょう。

### 波照間獅子舞の装束

[木・漆・芭蕉/全長約200cm]  
沖縄県  
胴体は植物の繊維を材料にしており、毛皮のように表されている。



### 北青獅子舞の装束

[彩色・竹・紙・毛糸・布/全長約190cm]韓国  
円盤状に顔がつけられ、口が弧を描いているので、笑っているような印象を与える。



### 南獅子舞の装束

[竹・紙・布・毛糸/全長約200cm]中国  
中国ではそれぞれの方角を象徴する色を定める思想が信じられてきた。この獅子の黒色は北を表し、その方角を守るという意味が込められている。

日本全国で見られる代表的な獅子舞は、赤い顔に大きな鼻があり、歯をかみ鳴らして悪魔払いをする。胴体を表す幕には毛を表す模様が描かれている。



### 若獅子舞の装束

[乾漆造・彩色・布/全長約300cm]

香川県  
耳が動く仕掛けになっていて、豊かな表情を表すことができる。油単と呼ばれる色鮮やかな幕をかぶる。



## 受けつがれる伝統芸能

祭りは地域によって異なりますが、多くの場合、演じ手の中心が地域の若い人たちであることは共通しています。祈りや願いを表す場で、若い人たちが中心となる意味について考えましょう。

### 龍藝をする高校生

中華街がある神戸市では、中国から伝わった獅子舞や龍藝に、部活動として取り組んでいる高等学校がある。旧正月には中華街で演技を披露し、地域の伝統を受けつぐ役目を担っている。



# 自然界や身の回りにある形や色

自然界や私たちの身の回りには、魅力的な形や色があふれています。動植物や自然現象などを観察し、感じ取ったイメージや、形や色の特徴をとらえ、表現や鑑賞の活動に生かしてみましょう。

